

# 使用上の注意改訂のお知らせ

2023年10月 - 11月

## テオフィリン徐放製剤

劇薬（テオロン錠 200mg）、処方箋医薬品<sup>注1</sup> 注）注意 - 医師等の処方箋により使用すること

**テオロン<sup>®</sup>錠 50mg** **テオロン<sup>®</sup>錠 100mg** **テオロン<sup>®</sup>錠 200mg**

製造販売元

**エーザイ株式会社**  
東京都文京区小石川4-6-10

## 強心・喘息治療剤

日本薬局方 アミノフィリン注射液

処方箋医薬品<sup>注1</sup> 注）注意 - 医師等の処方箋により使用すること

**ネオフィリン<sup>®</sup>注 250mg** **ネオフィリン<sup>®</sup>注PL250mg**

製造販売元

**エーザイ株式会社**  
東京都文京区小石川4-6-10

## 点滴専用アミノフィリン注射液

処方箋医薬品<sup>注1</sup> 注）注意 - 医師等の処方箋により使用すること

**ネオフィリン<sup>®</sup>注点滴用バッグ 250mg**

製造販売元

**エーザイ株式会社**  
東京都文京区小石川4-6-10

## 強心・喘息治療剤

アミノフィリン水和物錠

処方箋医薬品<sup>注1</sup> 注）注意 - 医師等の処方箋により使用すること

**ネオフィリン<sup>®</sup>錠 100mg**

製造販売元

**alfresa**

アルフレッサファーマ株式会社  
大阪市中央区石町二丁目2番9号

販売元

**エーザイ株式会社**  
東京都文京区小石川4-6-10

## 強心・喘息治療剤

日本薬局方アミノフィリン水和物

劇薬、処方箋医薬品<sup>注1</sup> 注）注意 - 医師等の処方箋により使用すること

**ネオフィリン<sup>®</sup>原末**

製造販売元

**alfresa**

アルフレッサファーマ株式会社  
大阪市中央区石町二丁目2番9号

販売元

**エーザイ株式会社**  
東京都文京区小石川4-6-10

## 未熟児無呼吸発作治療剤

アミノフィリン水和物注射液

処方箋医薬品<sup>注1</sup> 注）注意 - 医師等の処方箋により使用すること

**アブニション<sup>®</sup>静注 15mg**

製造販売元

**エーザイ株式会社**  
東京都文京区小石川4-6-10

このたび、標記製品の「使用上の注意」を下記のとおり改訂いたしました。

今後のご使用に際しましては、下記内容をご参照いただき、本書を適正使用情報としてご活用いただきますようお願い申し上げます。

## 改訂内容ダイジェスト(詳細はお知らせ本文をご参照ください)

改訂項目	改訂理由等	備考
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）	「12時間以内にアデノシン（アデノスキャン）を使用する患者」を追記しました。	通知によらない改訂
10. 相互作用 10.1 併用禁忌（併用しないこと）	「10.1 併用禁忌（併用しないこと）」の項を新設し、「アデノシン（アデノスキャン）」を追記しました。	

上記以外に、ネオフィリン錠100mg、ネオフィリン原末は、医療用医薬品電子添文新記載要領に基づく改訂を行いました。新記載要領の概要については、以下をご参照ください。

- 医薬品・医療機器等安全性情報  
No.344 [https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11120000-Iyakushokuhinkyoku/1\\_14.pdf](https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11120000-Iyakushokuhinkyoku/1_14.pdf)  
No.360 <https://www.mhlw.go.jp/content/11120000/000476693.pdf>
- 日本製薬工業協会（製薬協）説明資料  
<https://www.jpma.or.jp/information/evaluation/results/allotment/descriptions.html>

本改訂内容は医薬品安全対策情報（Drug Safety Update）No.321（2023年10月発送予定）にも掲載される予定です。

★製品に関するお問い合わせ先：エーザイ株式会社 hhcホットライン  
フリーダイヤル 0120-419-497 9～18時（土、日、祝日 9～17時）

★製品情報は、エーザイホームページ（<https://www.eisai.co.jp>）でご覧いただけます。

本製品の最新電子添文は独立行政法人医薬品医療機器総合機構  
ホームページ（<https://www.pmda.go.jp/>）からご覧ください。

[改訂箇所及び改訂理由]

2. 禁忌、10.1 併用禁忌

〈改訂部分抜粋〉

下線部 ( ) を追記いたしました。

改 訂 後			改 訂 前								
<p>2. 禁忌 (次の患者には投与しないこと)</p> <p>2.1 本剤又は他のキサンチン系薬剤に対し重篤な副作用の既往歴のある患者</p> <p>2.2 12時間以内にアデノシン (アデノスキャン) を使用する患者 [10.1参照]</p>			<p>2. 禁忌 (次の患者には投与しないこと)</p> <p>本剤又は他のキサンチン系薬剤に対し重篤な副作用の既往歴のある患者</p>								
<p>10. 相互作用</p> <p>10.1 併用禁忌 (併用しないこと)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アデノシン (アデノスキャン) [2.2 参照]</td> <td>本剤によりアデノシンによる冠血流速の増加及び冠血管抵抗の減少を抑制し、虚血診断に影響を及ぼすことがある。アデノシン (アデノスキャン) を投与する場合は12時間以上の間隔をあけること。</td> <td>本剤はアデノシン受容体に拮抗するため、アデノシンの作用を減弱させる。</td> </tr> </tbody> </table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	アデノシン (アデノスキャン) [2.2 参照]	本剤によりアデノシンによる冠血流速の増加及び冠血管抵抗の減少を抑制し、虚血診断に影響を及ぼすことがある。アデノシン (アデノスキャン) を投与する場合は12時間以上の間隔をあけること。	本剤はアデノシン受容体に拮抗するため、アデノシンの作用を減弱させる。	<p>10. 相互作用</p> <p>10.1 併用禁忌 (併用しないこと)</p> <p>記載なし</p>		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子									
アデノシン (アデノスキャン) [2.2 参照]	本剤によりアデノシンによる冠血流速の増加及び冠血管抵抗の減少を抑制し、虚血診断に影響を及ぼすことがある。アデノシン (アデノスキャン) を投与する場合は12時間以上の間隔をあけること。	本剤はアデノシン受容体に拮抗するため、アデノシンの作用を減弱させる。									

改訂理由

アデノスキャンの「2. 禁忌」及び「10.1 併用禁忌」の項にメチルキサンチン類としてテオフィリン、アミノフィリン水和物が記載されています。電子添文の整合性を図るため、本剤の「2. 禁忌」及び「10.1 併用禁忌」の項にアデノスキャンを追記しました。なお、テオロング錠50mg/錠100mg/錠200mgの電子添文は、旧記載要領版になります。

[GS1バーコード]

薬機法 (医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律) の改正に伴い、令和3年8月1日より医療用医薬品の添付文書の電子化が施行されました。

添付文書閲覧アプリ「添文ナビ<sup>®</sup>」でGS1バーコードを読み取ることで、スマートフォンやタブレット端末で最新の電子添文をご覧いただけます。

なお、「添文ナビ<sup>®</sup>」アプリにつきましては、ご使用になれる端末に合わせて「App Store」または「Google Play」よりダウンロードしてください。

	テオロング錠50mg	テオロング錠100mg	テオロング錠200mg	
販売包装単位	 (01)14987028236150	 (01)14987028236235	 (01)14987028236310	
	ネオフィリン注250mg	ネオフィリン注PL250mg	ネオフィリン注点滴用バッグ250mg	ネオフィリン錠100mg
販売包装単位	 (01)14987028201691	 (01)14987028203909	 (01)14987028216817	 (01)14987028201349
	ネオフィリン原末	アブニション静注15mg		
販売包装単位	 (01)14987028201134	 (01)14987028211119		

CODE DI-J-940  
2023年10月作成  
(2404)